

3 防災訓練実施状況

(1) 福岡県総合防災訓練参加機関等一覧表

回	年度	訓練日	共催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加機関	訓練人員	車両	船舶	航空機	訓練種目
1	40	昭和40年5月20日(木)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部		2,500				
2	41	昭和41年6月3日(金)	杷木町	杷木町筑後川河川敷(昭和橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部						
3	42	昭和42年6月10日(土)	芦屋町	芦屋町遠賀川河川敷	県北	遠賀消防本部						
4	43	昭和43年6月7日(金)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部						
5		昭和43年6月13日(木)	国上訓練	(消防会館)								
6	44	昭和44年5月30日(金)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部	13	800				
7	45	昭和45年6月8日(月)	瀬高町	瀬高町矢部川河川敷(船小屋)	県南	瀬高町外二町消防本部						
8	46	昭和46年6月18日(金)	行橋市	行橋市今川河川敷(今川大橋上流)	県北	行橋消防本部						
中止	47	昭和47年5月30日(火)	甘木市 田主丸町	甘木市・田主丸町筑後川河川敷	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
9	48	昭和48年5月18日(金)	八女市 立花町	八女市・立花町矢部川河川敷(中川原橋上流)	県南	八女消防本部						
10	49	昭和49年5月21日(火)	杷木町 吉井町	杷木町・吉井町筑後川河川敷(原鶴橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
11	50	昭和50年6月4日(水)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋下流)	県北	直方市消防本部		1,300				
12	51	昭和51年5月31日(月)	津屋崎町	津屋崎町海岸(渡)	県央	宗像消防本部						
13	52	昭和52年5月16日(月)	志摩町	志摩町(芥屋漁港)	県央	糸島消防本部		900				
14	53	昭和53年6月1日(木)	城島町	城島町筑後川河川敷(浜)	県南	県南広域消防本部						
15	54	昭和54年6月6日(水)	福岡市	福岡市東区雁の巣(雁の巣レクリエーションセンター南側海岸)	県央	福岡市消防局	23	1,493	79	10	8	36
16	55	昭和55年6月9日(月)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部						
17	56	昭和56年5月8日(金)	芦屋町	芦屋町(西浜町海岸埋立地)	県北	遠賀消防本部	26	1,207	99	7	11	36
18	57	昭和57年5月12日(水)	吉井町	吉井町筑後川河川敷(千年地先)	県南	県南広域消防本部	26	1,200	67	3	8	36
19	58	昭和58年5月26日(木)	苅田町	苅田町海岸埋立地(新浜町地先)	県北	苅田町消防本部	29	1,244	104	8	8	37
20	59	昭和59年5月23日(水)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	30	923	59	1	8	31
21	60	昭和60年5月24日(金)	二丈町	福吉漁港(二丈町)	県央	糸島消防本部	37	935	52	6	8	35
22	61	昭和61年5月20日(火)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(小森野橋上流)	県南	久留米市消防本部	29	1,244	88	1	7	34
23	62	昭和62年5月19日(火)	吉富町	吉富町山国川河川敷(山国大橋上流)	県北	京築広域消防本部	38	1,128	89		7	37
24	63	昭和63年5月26日(木)	玄海町	鐘崎漁港(玄海町)	県央	宗像消防本部	43	1,162	84	6	10	30
25	元	平成1年5月26日(金)	大川市	大川市筑後川河川敷(大川市総合運動公園)	県南	大川市消防本部	36	1,080	115	3	14	30
26	2	平成2年5月24日(木)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	43	965	122		8	30
27	3	平成3年5月24日(金)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋上流)	県北	直方市消防本部	32	972	101		8	30
28	4	平成4年5月29日(金)	志摩町	船越漁港(志摩町)	県央	糸島消防本部	47	865	72	13	16	19
29	5	平成5年5月25日(火)	大牟田市	三池港(大牟田市)	県南	大牟田市消防本部	54	1,115	108	14	23	24
30	6	平成6年5月24日(火)	中間市	遠賀川河川敷(中間市大字中間)	県北	中間市消防本部	38	677	84	1	26	25
31	7	平成7年5月24日(水)	田川市	田川市遠賀川河川敷(大字橋)	県北	田川市消防本部	64	823	130	6	16	26
32	8	平成8年5月23日(金)	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市天拝坂開発地区(杉原・塔原地区)	県央	筑紫野太宰府消防本部	98	1,191	199		12	17
33	9	平成9年6月5日(木)	筑後市 八女市 瀬高町	九州松下電器筑後工場(筑後市)矢部川河川敷、八幡小学校(八女市)矢部川中の島公園(瀬高町)	県南	筑後市消防本部 八女消防本部 瀬高町外二町消防本部	105	2,000	180		12	67
34	10	平成10年5月28日(木)	北九州市	新門司フェリーターミナル(北九州市門司区周辺)	県北	北九州市消防局	79	1,500	210	11	11	27
中止	11	平成11年8月31日(木)	鞍手郡4町	地域振興整備公団工場団地造成地(宮田町)	県北	直方鞍手消防本部	(予定)	1,300	140		9	20
35	12	平成12年5月26日(金)	福岡市	香椎パークボート(福岡市東区)	県央	福岡市消防局	100	2,000	180		2	45
36	13	平成13年5月25日(金)	粕屋地区 1市7町	久山町サッカー場(糟屋郡久山町)	県央	粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部	110	3,500	120		8	42
37	14	平成14年5月29日(水)	甘木朝倉地区 1市4町2村	筑後川河川敷(甘木市大字長田地先)	県央	甘木朝倉消防本部	120	4,200	130		12	47
38	15	平成15年6月1日(日)	小郡市他 4市3町	筑後小郡簡保レクセンター跡地(小郡市三沢字ハサコノ宮5208-1)	県央	県南広域消防本部 春日大野城那珂川消防本部	120	4,500	180		7	40
39	16	平成16年5月30日(日)	柳川市他 1市5町	三井鉱山(株)所有地(柳川市大字橋本町中東区7番11)	県南	柳川消防本部 筑後市消防本部	93	1,500	160		6	32
40	17	平成17年6月5日(日)	嘉飯山地区	飯塚市遠賀川河川敷(目尾地区)	県北	飯塚地区消防本部	109	1,400	160		9	35
41	18	平成18年5月28日(日)	福岡市 宗像市	福岡漁港(福津市)	県央	宗像消防本部	95	1,400	120	7	12	32
42	19	平成19年6月3日(日)	大川市	筑後川総合運動公園(大川市大字大野島)	県南	大川市消防本部	103	1,400	150	10	14	34
43	20	平成20年5月25日(日)	行橋市	行橋総合公園(行橋市大字今井)	県北	行橋消防本部	64	1,300	130	7	9	39

回	年度	訓練日	共催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加 機関	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練 種目
44	21	平成21年5月24日 (日)	筑紫野市 太宰府市	宝満川上流浄化センター用地ほか4箇所 (筑紫野市大字諸田)	県央	筑紫野太宰府消防本部	120	1,200	130	0	7	37
45	22	平成22年5月30日 (日)	久留米市	筑後川河川敷 (久留米市二千年橋上流)	県南	久留米広域消防本部	180	2,200	160	1	11	37
46	23	平成23年6月5日 (日)	遠賀郡4町	芦屋港 (遠賀郡芦屋町西浜町)	県北	遠賀郡消防本部	150	1,300	160	3	12	37
47	24	平成24年6月3日 (日)	糸島市	船越漁港 (糸島市志摩船越)	県央	糸島市消防本部	120	1,900	140	5	11	40
48	25	平成25年6月2日 (日)	大牟田市	日本コークス工業用地 (大牟田市新港町)	県南	大牟田市消防本部	120	1,850	140 (128)	3	8 (1)	36
49	26	平成26年6月1日 (日)	苅田町	苅田港南港地区 (苅田町新浜町)	県北	苅田町消防本部	140	1,300	130	7	10	34
50	27	平成27年5月31日 (日)	福岡市	福岡県警察訓練場跡地 (福岡市東区奈多)	県央	福岡市消防局	120	1,900	150	11	6	34
51	28	平成28年5月29日 (日)	柳川市	柳川市橋本町	県南	柳川市消防本部	熊本地震対応のため、中止					
52	29	平成29年5月28日 (日)	吉富町 他1市3町	吉富漁港 (吉富町大字小祝)	県北	京築広域消防本部	100	2,200	87	3	9	38
53	30	平成30年6月3日 (日)	古賀市 他1町	玄望園地区ほか1か所(相島) (古賀市荏内)	県央	粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部	90	1,300	110	1	8	32
54	元	令和1年6月2日 (日)	広川町 みやま市	ロームアポロ(株)グラウンド(広川町) みやま市消防本部屋外訓練場(みやま市) ほか5か所	県南	八女消防本部 みやま市消防本部	100	1,800	130	2	8	30
55	2	令和2年5月31日 (日)	直方市 中間市	直方市遠賀川河川敷グラウンド(直方市) 中間市遠賀川河川敷駐車場(中間市) ほか3か所	県北	直方市消防本部 中間市消防本部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、翌年度へ延期					
56	3	令和3年10月23日 (土)	直方市 中間市	直方市遠賀川河川敷グラウンド(直方市) 中間市遠賀川河川敷駐車場(中間市) ほか2か所	県北	直方市消防本部 中間市消防本部	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止					
57	4	令和4年5月29日 (日)	篠栗町 須恵町	カフトの森公園(篠栗町) 健康広場(須恵町) ほか2か所	県央	粕屋南部消防組合消防本部	80	1,100	100		5	36
58	5	令和5年5月28日 (日)	朝倉市 筑前町 東峰村	あまぎ水の文化村(朝倉市) ほか4か所	県南	甘木・朝倉消防本部	90	1,700	100		8	35

福岡県石油コンビナート等総合防災訓練実施状況一覧表

回	年度	訓練日		訓練実施場所	地域区分	参加機 関数	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練種 目数
1	56	昭和56年11月26日	(木)	北九州市若松区 響灘埋立地及び周辺海上	北九州	16	322	32	14	2	24
2	57	昭和57年9月2日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	33	541	56	19	3	38
3	58	昭和59年2月10日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	20	483	58	9	4	31
4	59	昭和59年11月13日	(火)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	18	277	45	9	1	30
5	60	昭和60年8月29日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	25	465	57	16	3	37
6	61	昭和61年9月2日	(火)	京都郡苅田町長浜町 九州電力苅田発電所及び周辺海上	苅田	20	412	44	5	2	35
7	62	昭和62年9月3日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	20	337	50	9	3	32
8	63	昭和63年8月30日	(火)	福岡市中央区荒津2丁目 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	26	429	61	11	1	37
9	元	平成1年8月30日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	19	253	41	11	3	33
10	2	平成2年11月6日	(火)	北九州市門司区新門司2丁目 出光興産門司油槽所及び周辺海上	北九州	33	330	41	8	4	32
11	3	平成3年9月5日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	41	474	69	16	7	22
12	4	平成4年10月22日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	34	628	47	16	11	22
13	5	平成5年10月14日	(木)	北九州市戸畑区大字戸畑 新日本製鐵八幡製鐵所及び周辺海上	北九州	32	641	53	23	12	22
14	6	平成6年8月31日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	494	57	15	4	26
15	7	平成7年10月19日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	891	49	23	10	26
16	8	平成8年8月7日	(水)	北九州市若松区沖 白島石油備蓄基地及び周辺海上	白島	30	964	13	51	13	20
17	9	平成9年9月4日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	476	62	17	3	27
18	10	平成10年9月3日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	500	45	12	5	24
19	11	平成11年11月18日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日石三菱北九州油槽所及び周辺海上	北九州	33	410	72	14	3	23
20	12	平成12年10月17日	(火)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	400	54	16	3	29
21	13	平成13年9月12日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	37	400	51	11	4	26
22	14	平成14年8月28日	(水)	北九州市若松区沖 白島石油備蓄基地及び周辺海上	白島	30	550	26	31	7	21
23	15	平成15年9月11日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	30	320	40	9	6	28
24	16	平成16年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	台風接近により中止					
25	17	平成17年11月9日	(水)	北九州市小倉北区西港 東西オイルターミナル(株)北九州油槽 所及び周辺海上	北九州	41	350	41	10	5	26
26	18	平成18年9月4日	(月)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	26	200	8	12	3	26
27	19	平成19年10月19日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	26	200	8	12	3	26
28	20	平成20年10月16日	(木)	北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地及び周辺海上	白島	28	400	6	14	6	20
29	21	平成21年9月9日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	35	400	31	11	5	25
30	22	平成22年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	35	340	16	13	7	21
31	23	平成24年1月31日	(火)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	16	300	-	-	-	-
32	24	平成24年9月6日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	29	400	28	7	4	27
33	25	平成25年9月4日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	大雨洪水警報により中止					
34	26	平成26年10月21日	(火)	北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地及び周辺海上	白島	34	400	4	12	5	20
35	27	平成27年11月18日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	24	400	23	6	2	28
36	28	平成28年11月16日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	31	300	21	13	2	22
37	29	平成29年10月16日	(月)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	13	100	-	-	-	-
38	30	平成30年11月22日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	400	19	6	1	22
39	31/元	-	-	-	豊前	特別防災区域解除に係る中止					
40	2	令和2年11月4日	(水)	北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地及び周辺海上	白島	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止					
41	3	令和3年8月25日	(水)	各機関執務室(県:災害対策本部室)	福岡(西戸崎)	8	20	-	-	-	2
42	4	令和4年8月26日	(金)	各機関執務室(県:災害対策本部室)	北九州	8	20	-	-	-	1
43	5	令和6年2月8日	(木)	各機関執務室(県:災害対策本部室)	福岡(荒津)	8	20	-	-	-	1

(3)市町村防災訓練実施状況

「消防防災・震災対策現況調査：26表」より作成（対象期間：2023年度中）（速報値）

団体名称	訓練回数	訓練想定									訓練形態			
		風水害	土砂災害	地震・津波	コンピナート災害	大火災	林野火災	原子力災害	火山災害	その他	総合訓練（実働）	図上訓練	通信訓練	その他
福岡県計	111	47	14	31	0	4	8	2	0	21	65	28	7	11
単独消防本部（局）設置市町														
北九州市	15	1	0	2	0	0	0	0	0	12	2	13	0	0
福岡市	6	2	0	3	0	0	0	1	0	0	5	1	0	0
大牟田市	3	2	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0
直方市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
柳川市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
筑後市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
大川市	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
行橋市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中間市	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
みやま市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
糸島市	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
荏田町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
久留米広域市町村圏事務組合構成市町														
久留米市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
小郡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うきは市	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
大刀洗町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大木町	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
八女地区消防組合構成市町														
八女市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑紫野太宰府消防組合構成市														
筑紫野市	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
太宰府市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
飯塚地区消防組合構成市町														
飯塚市	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
嘉麻市	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
桂川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
春日・大野城・那珂川消防組合構成市町														
春日市	5	3	0	2	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0
大野城市	5	2	0	2	0	0	0	0	0	1	4	1	0	0
那珂川市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
田川地区消防組合構成市町村														
田川市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
香春町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
添田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
糸田町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
川崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大任町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
赤村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福智町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京築広域市町村圏事務組合構成市町														
豊前市	3	1	0	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
みやこ町	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
吉富町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
上毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
築上町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

団体名称														
直方・鞍手市町村圏事務組合構成市町														
宮若市	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
小竹町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鞍手町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甘木・朝倉市町村圏事務組合構成市町村														
朝倉市	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
筑前町	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
東峰村	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
粕屋南部消防組合構成町														
宇美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
篠栗町	7	1	0	1	0	0	2	0	0	3	4	0	0	3
志免町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
須恵町	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
久山町	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	0	0	0
粕屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宗像地区済	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
宗像市	9	3	0	1	0	4	1	0	0	0	7	2	0	0
福津市	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
粕屋北部消防組合構成市町														
古賀市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
新宮町	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	0	0	0
遠賀・中間広域行政事務組合構成町														
芦屋町	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
水巻町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
岡垣町	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
遠賀町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

(4) 令和5年度福岡県総合防災訓練(第58回)

1 目的

- (1) 県、市町村、防災関係機関の災害時の連携強化及び防災技術の向上
- (2) 県民の防災意識の高揚

2 開催日時

令和5年5月28日(日) 10時00分～12時10分

3 会 場

- (1) 朝倉市会場：あまぎ水の文化村
十文字中学校
- (2) 筑前町会場：夜須中学校グラウンド・体育館
- (2) 東峰村会場：保健福祉センターいずみ館
東峰学園グラウンド

4 主 催

福岡県、朝倉市、筑前町、東峰村

5 参加機関

消防、警察、自衛隊、医療機関等の防災関係機関約90機関

6 参加予定人員

約1,700名

7 参加車両等

車 両：約100台

ヘ リ：7機

航空機：1機

8 災害想定

(1) 風水害

1時間に約130ミリの記録的短時間大雨により、朝倉市、筑前町及び東峰村を中心に浸水被害等が発生。

(2) 地震

西山断層(嘉麻峠～杷木区間)を震源地とするマグニチュード6.9、最大震度6強の地震により、家屋の倒壊、火災等が発生。

9 訓練の特徴

平成29年九州北部豪雨や令和2年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ、複数の市町村が同時に被災したケースを想定し、甘木・朝倉消防本部が管轄する朝倉市、筑前町及び東峰村の3か所で同時に訓練を実施。

市町村と地域住民による訓練を基本に、県訓練として他市町村や関係機関との連携訓練を実施。

地域の特性を生かし、急な降雨によるダムの緊急放流や河川の氾濫情報等に伴う、避難情報の伝達、土砂災害・水没地域からの救助・救出等、「水」をテーマにした訓練を実施。

自助・共助の観点から、避難行動要支援者を含む地域住民の避難訓練及び避難所運営訓練等の住民参加型訓練を、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施。

(1) 情報収集・伝達訓練

県災害時受援計画に基づく支援・要請訓練、被災情報収集・伝達訓練 等

(2) 救出救護訓練

孤立者救出訓練、応急救護所設置訓練 等

(3) その他災害対応訓練

アマチュア無線による非常通信訓練やライフライン応急復旧訓練 等

10 一般見学者向けイベント

朝倉市会場では、訓練に合わせて下記のイベントを実施

- ・福岡県警察：パトカー等車両の展示
- ・九州電力：発電機車両の展示
- ・西日本電信電話（株）：災害用伝言ダイヤル171の体験 等
- ・株式会社NTTドコモ／ドコモビジネス：移動基地局車の展示
- ・国土交通省九州地方整備局：排水ポンプ車の展示
- ・福岡県防災企画課：「ふくおか防災ナビ・まもるくん」紹介 等

令和5年度福岡県総合防災訓練 訓練種目(朝倉市会場)

訓練 番号	訓 練 種 目	
1	指定緊急避難場所設置運営訓練	○十文字中学校を指定緊急避難場所として開設し、避難所設置運営訓練を実施。
2	緊急地震速報対応訓練	○地震発生を想定し、会場の全員がそれぞれ「シェイクアウト」行動。
3	災害対策本部設置運営訓練	○県、朝倉市、筑前町、東峰村が災害警戒本部・災害対策本部を設置。 ・各本部は気象台から気象情報入手し、初動対応を実施。 ・消防、警察、自衛隊、国、県等の防災関係機関が、各本部へ情報連絡員(リエゾン)を派遣。 ・市町村は気象情報に応じ、高齢者等避難・避難指示等を発令
4	医療機関災害支援情報入力訓練	○県内医療機関が、県広域災害・救急医療情報システムにより、災害支援情報等を入力。
5	アマチュア無線による非常通信訓練	○交通・通信が途絶した際の情報伝達のため、ボランティア無線本部を設置。
6	情報収集・伝達訓練	○大雨の発生に伴い、防災関係機関のヘリ・車両・ドローン等により被災状況を把握。 ○ヘリ等による被災状況の映像伝送を実施。
7	寺内ダム緊急放流伝達訓練	○緊急放流のおそれが生じたため、寺内ダムが、朝倉市災害対策本部とテレビ会議。 ○市本部は佐田川流域住民に対し避難を指示。
8	道路啓開訓練	○道路を寸断した倒木・土砂や埋没車両を重機により除去し、道路啓開を実施。
9	水害対応水防訓練	○河川からの越水を防ぐため、消防団等による積み土の工法を実施。
10	消防相互応援協定に基づく応援要請・集結訓練、自衛隊派遣要請、緊急消防援助隊進出訓練	○朝倉市消防本部から県内消防本部に対し、応援を要請。 ○市町村から県に対し、自衛隊や緊急消防援助隊の派遣を要請。
11	DMAT派遣要請訓練	○県から指定医療機関に対し、災害派遣医療チーム(DMAT)派遣を要請。
12	応急医療救護所設置運営訓練	○応急救護所を設置し、救護所運営訓練を実施。 ・傷病者のトリアージ、応急救護、重傷者の病院への搬送。 ・県医薬品卸業協会等が医薬品・医療機器等を運搬。 ・県警と県医師会等による身元確認等を実施。
13	倒壊家屋、埋没車両からの救出訓練	○地震により倒壊した家屋や、土砂災害に巻き込まれた車両から、要救助者を捜索・救助。 ・救助犬協会及び日本レスキュー協会が、救助犬による要救助者検索を実施。 ・消防本部、警察、陸上自衛隊及び災害派遣医療チーム(DMAT)が連携して救出訓練を実施。
14	食糧供給訓練	○被災者へ食糧等を供給。 ※レトルト等の配布。
15	自主防災組織による初期消火・救護訓練(応急手当・応急担架作成)	○一般参加者に対し、水消火器を用いた初期消火や搬送、AEDの使用訓練等を実施。
16	救助ボートによる孤立者救出搬送訓練	○陸上自衛隊救助ボートが、洪水によって冠水し、孤立地域になった地区の住民を救出。
17	救援物資輸送訓練	○県・市の協定締結事業者等のトラックや海上保安本部のヘリが、避難所の運営物資を輸送。
18	ヘリによる孤立者救出搬送訓練	○航空自衛隊ヘリが、洪水によって冠水し、孤立地域になった地区の住民を救出。
19	ライフライン応急復旧訓練	○大規模災害により寸断されたライフラインの復旧訓練を実施。 ・切断された電線の応急送電 ・移動基地局車による臨時基地局設置 ・電源車への燃料供給 ・LPガス容器回収訓練
20	応急危険度判定訓練	○県及び市本部が、県建築士会の協力を得て、被災建物等の応急危険度判定を実施。
21	大規模火災防ぎょ訓練及び山林火災空中散水訓練	○地震による市街地の火災消火のため、消防団による一斉放水訓練を実施。 ○地震による山林の大規模火災消火のため、消防ヘリによる空中散水訓練を実施。
	イベント展示	

令和5年度福岡県総合防災訓練 訓練種目(筑前町・東峰村会場)

訓練 番号	訓 練 種 目	
1	市街地火災防ぎょ訓練	○地震による住宅密集地域での火災消火のため、消防団が消火活動を実施。
2	初期消火訓練	○地震による火災消火のため、住民自らが初期消火を実施。
3	避難行動要支援者避難誘導訓練	○避難支援者が、要支援者を、介添又は徒歩搬送により、避難所へ誘導。
4	負傷者搬送訓練	○自主防災組織がけが人の簡易搬送等を実施。
5	ヘリによる孤立者救出搬送訓練	○陸上自衛隊ヘリが、災害により孤立地域になった朝倉市内の要救助者を、筑前町会場の避難所へ搬送。
6	救援物資輸送訓練	○陸上自衛隊ヘリが、救援物資を朝倉市会場へ輸送。
7	災害ボランティアセンター設置運営訓練	○被災者とボランティアのマッチングを実施。
8	断水時給水訓練	○陸上自衛隊の給水車が、避難者に給水を実施。
9	指定緊急避難場所等設置運営訓練	○夜須中学校体育館を指定緊急避難場所として開設し、避難所設置運営訓練を実施。併せて、福祉避難所、救護所及びペット避難所等の運営訓練を実施。 ・パーティション、テント、マット等設営 ・避難者受付、体温測定 ・保健師による体調不良者への問診 ・負傷者の応急手当 ・AED使用による心肺蘇生法 ・保健師と災害福祉支援チーム(DWAT)の連携による要配慮者への支援 ・手話の会による聴覚障がい者への支援 ・愛護動物の同行避難 ・県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の活用 ・避難者へ非常用食糧、飲料を配布
10	Jアラート対応訓練	○緊急地震速報等に対する行動を確認。
11	指定緊急避難場所設置運営訓練	○保健福祉センターいずみ館を指定緊急避難場所として開設し、避難所設置運営訓練を実施。併せて、応急救護所の運営訓練を実施。 ・避難者受付、体温測定 ・段ボールベット、パーティション設置 ・保健師による体調不良者への問診、要配慮者への支援
12	無線機による孤立地域の情報収集	○携帯無線機を活用し、孤立地域の情報収集及び村本部との情報伝達を実施。
13	避難行動要支援者誘導訓練	○避難支援者が、要支援者を、避難所(保健福祉センターいずみ館)へ誘導。
14	ヘリによる孤立者救出搬送訓練 (東峰学園グラウンド)	○北九州消防本部ヘリが、洪水により冠水し、孤立地域になった地区の要救助者を救出し、朝倉市の避難所へ搬送。

令和５年度福岡県石油コンビナート等総合防災訓練実施要領

１ 訓練目的

福岡県石油コンビナート等防災計画に基づき、福岡地区石油コンビナート等特別防災区域における災害発生を想定し、本県、福岡市、防災関係機関及び特定事業所が総合的な防災訓練を実施することにより、災害時における応急対策の機能強化を図る。

２ 訓練日時

令和６年２月８日（木）１４時００分

３ 訓練場所

各機関執務室

※災害発生場所は、出光興産(株)福岡油槽所（福岡市中央区荒津１丁目町２－３１）

４ 参加機関（順不同）

出光興産(株)福岡油槽所、福岡県、福岡市、福岡市消防局、第七管区海上保安本部、福岡海上保安部、福岡県警察、陸上自衛隊

５ 訓練内容

出光興産(株)福岡油槽所敷地内にて災害が発生したとの想定の下、参加機関が図上訓練（情報伝達訓練）により、迅速かつ正確な情報伝達体制及び伝達方法の確認を行い、災害応急対策の機能強化を図る。

（１） 災害想定

タンカー船からガソリンの受入れ中にタンクから火災発生。火災の影響で油漏洩中。海上流出の可能性あり。

（２） 訓練方法

各関係機関は、福岡県石油コンビナート等防災計画「福岡地区情報伝達系統図」に基づき、可能な限り実際に連絡しあうなど、実効性を高めるための訓練を実施する。

なお、各関係機関においては、内部局への連絡についても可能な限り実施する。

（３） その他

訓練実施後は、訓練参加機関に対して、訓練の成果や課題、今後の対応策等について意見等を求め、次回の訓練に生かすとともに災害発生に備える。

令和5年度福岡県原子力防災訓練について（概要）

1 訓練実施目的

「原子力災害対策特別措置法」や「原子力災害対策指針」では、万が一、原子力災害が発生した場合には、原子力発電所から 30km 圏内の住民は、まずは自宅等へ屋内退避し、その後の状況により、国の指示で、30km 圏外の避難所へ一時移転することとなっている。

本県で、糸島市の一部（約 1 万 5 千人、約 6 千世帯）がこの 30km 圏内に含まれていることから、「地域防災計画」及び「広域避難基本計画」等を策定し、万が一の原子力災害に備えている。

今回、国、佐賀県及び長崎県と連携し、広域避難訓練等を実施することにより、県民及び防災業務関係者の原子力防災対策の習熟及び意識向上、並びに防災関係者間相互の連携強化を図るもの。

2 日時

令和5年10月14日（土）8時00分～14時00分

3 場所

福岡県庁、糸島市役所 等

4 主催者

福岡県及び糸島市（佐賀・長崎県と連携）

5 参加者

機関数 119 機関（自衛隊、警察、消防、原子力規制庁、九州電力 等）

参加者数 約 1,500 人（うち、住民参加 約 1,010 人）

6 訓練想定

九州電力株式会社玄海原子力発電所4号機運転中に、佐賀県内において地震が発生、その後、事故等の複合事象により、原子炉への全ての給水・注水機能等が喪失し、原子炉内の放射性物質が外部に放出された場合を想定。

県は、事態の進展に応じて、国、関係市町及び関係機関と連携し、地域防災計画等に基づく諸対策を実施する。

7 訓練内容

(1) 情報収集・伝達訓練

原子力災害時に県民の安全及び安心を確保するため、九州電力や国からの情報を、正確に収集し、関係機関や住民に伝達する訓練を行う。

- 国、3 県との間でテレビ会議を開催
- 九州電力や国からの情報収集、関係機関への情報伝達等
- 県が応急対策（緊急時モニタリング）の実施状況を把握
- 県が道路障害情報の収集・伝達
- 学校、幼稚園及び保育園への情報伝達（別日に実施）
- ④ドローンを活用した情報収集訓練
無人航空機による道路・斜面の被災状況の情報収集を実施
- ④防災アプリ等を活用した住民広報訓練
ふくおか防災ナビ・まもるくん、エリアメール及び防災行政無線等による住民広報（原子力緊急事態宣言発令及び屋内退避指示）を実施
- ④糸島現地災害対策本部設置運営訓練
糸島市役所内に県現地災害対策本部を設置し、現地での総合調整に係る図上訓練を実施

(2) 緊急時モニタリング訓練

避難指示等を国が出す際に参考にする「空間放射線量率」（一定時間内に空気中を通過する放射線の量）等を、県内各所で測定する。

- 空間放射線量率の監視強化
 - ・ モニタリングポストにおけるデータ収集頻度の増
 - ・ サーベイメータによる測定
- 環境試料（水）の採取・測定
- モニタリングセンター（国）との情報伝達

(3) 広域避難訓練

万が一、原子力災害が発生した場合に備え、住民の「屋内退避」訓練を行い、更に、UPZ（原子力発電所から半径 30km 圏内）で高い放射線が確認された場合を想定し、「一時移転」（無用な被ばくを避けるため、一週間以内に当該地域から離れる）を行う。

- 県内広域避難訓練
自家用車やバスによる広域避難を実施
- UPZ 外屋内退避訓練
- 在宅の避難行動要支援者避難支援訓練
- 交通規制・誘導訓練
主要避難経路の通行止めを想定した交通規制・誘導及び迂回路による避難
- 愛護動物同行避難訓練

- 障がい者支援施設等の社会福祉施設の広域避難訓練
避難元施設、中継施設、避難先施設が連携して、要配慮者の避難を実施
- 避難元病院の避難訓練
- 放射線防護施設の屋内退避訓練
離島（姫島）の放射線防護施設（はまゆう）で屋内退避を実施
- ④ヘリコプターを活用した緊急輸送訓練
陸上自衛隊ヘリによる離島住民の緊急輸送を実施（輸送元：姫島小中学校グラウンド、輸送先：小戸公園芝生広場）
- ④孤立地区からの船舶を活用した緊急輸送
複合災害による孤立地区を想定し、福ノ浦漁港から岐志漁港への漁船による住民輸送を実施

(4) 原子力災害医療訓練

放射性物質による被ばくの低減及び汚染の拡大防止を適切に実施するために、避難退域時検査・簡易除染訓練等を行う。

- 避難退域時検査・簡易除染訓練
避難先でバス及び自家用車並びに住民の避難退域時検査及び簡易除染を実施
- 安定ヨウ素剤の緊急配布訓練
避難者に安定ヨウ素剤の緊急配布を実施（訓練では『模擬薬』を配布）
- 健康相談訓練
県と放射線技師会が連携して、福岡市、粕屋町の避難所で健康相談・健康講話を実施
- 被ばく傷病者等搬送・受入訓練（一部、別日に実施）
糸島市UPZ内に発生した被ばく傷病者の医療機関への搬送及び受入を実施